

「第 10 回二戸市埋蔵文化財センター発掘調査報告会」を開催しました

- 1 日時 令和 6 年 3 月 9 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 4 時
- 2 会場 二戸市埋蔵文化財センター 会議・研修室ほか
- 3 主催 二戸市埋蔵文化財センター
- 4 後援 一般社団法人岩手県文化財愛護協会、NPO 法人カシオペア市民情報ネットワーク、株式会社デーリー東北新聞社、岩手県立博物館、九戸城を活かす会、二戸市観光協会
- 5 内容

講演では、岩手県立博物館の丸山浩治氏を講師に招き、「火山灰から考える古代の二戸」と題し、十和田 10 世紀噴火前後における旧二戸市域や旧浄法寺町域などの古代集落の変遷についてご講演いただきました。

令和 5 年度調査報告では、当センター職員から令和 5 年度発掘調査の概要と晴山遺跡第 49・50 次調査、史跡九戸城跡の調査成果を報告しました。また、今年度市内で実施した遺跡・史跡の発掘調査で出土した土器や土師器、石器、陶磁器などの遺物を展示しました。

当日は、市内のほか県内他市町村や青森県から 80 名がご参加くださいました。

二戸市埋蔵文化財センターでは、来年度も講師をお招きしての発掘調査報告会の開催を予定しております。詳細につきましては埋蔵文化財センターホームページや広報などでお知らせいたしますので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。



講演：「火山灰から考える古代の二戸」



調査報告：令和 5 年度発掘調査の概要



調査報告：晴山遺跡第 49・50 次調査



調査報告：史跡九戸城跡